

# 2021 年度事業報告

## 特定非営利活動法人ふおーらいふ

### 総括

不登校状態にある児童・生徒が法人の教育理念「自主」「自立」「生活と命」に基づく活動へ主体的に参加することができた。また青少年本部、神戸市青少年育成支援事業補助金、大阪コミュニティ財団などの助成を受け、自然体験活動や地域交流、社会参加につながる講座などを企画し、スクールの児童・生徒たちが安全に各活動へ参画できるようサポートを行い、各活動を通して、児童・生徒たちの意欲を高めることができた。

発達障害など学びづらさがある子ども支援として、学習支援やコミュニケーションサポートを行うことができた。さらに、発達障害に関する学びの機会と場の提供を行い、理解の普及に努めた。

また、教育や不登校などの相談及び支援・情報提供活動として、日々の相談受付や、親の会の開催、他団体との相互評価などを行い、相談支援及び情報の提供を行うことができた。その他、行政、福祉分野の委託業務を受けたり、教育不登校施策の提言の場に参画、発信したり、オンラインツールなどを活用し、講演・講座の依頼をうけて登壇し、事業収入の安定化に努めた。

### (1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

#### 1. 自然体験・仕事体験の実施

青少年本部、神戸市青少年育成支援事業補助金による助成を受け、里山工房で自然体験活動を実施し、学校外で学び育つ一般参加の小中学生を含め、10月は20名、11月は20名の子どもが参加した。

ホームスクーラーや、他のフリースクールの方々との交流の場が実現し、学校に行きづらい子どもたちが、指導者のもとで、藍染体験や木工作品作りを通して、道具の使い方、自然との共生の意味を知ることができた。

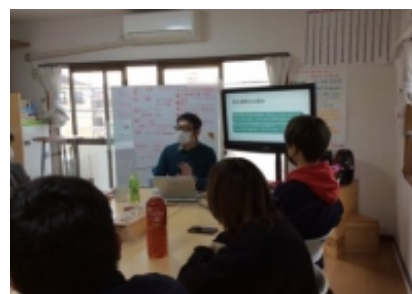


里山工房での自然体験

#### 2. 義務教育後の若者のための社会参加『ゼミ Café』実施

1年間を通して、大阪コミュニティ財団の助成を受け、義務教育後の若者のための社会参加『ゼミ Café』を、のべ6回実施し、平均9名が参加した。

ゼミ Café では、料理教室や社会保障・デザイン・音楽・自分研究といった各講座を通して、自分自身を向き合うきっかけ作りを行った。また、この講座の参加者が自らの企画として、自分史年表作りをフリースクールで行い、5名の子どもが参加した。それぞれが自分を振り返り考えを深めるきっかけになるなど大変大きな成果をなった。



『ゼミ Café』実施

### 3. その他の活動について

12 月半ばに大阪への卒業旅行を実施し、9 名の子どもが参加した。行き先については子どもたちが候補を挙げ、プレゼンを行い決定した。観光ルートやグループ行動の計画なども、子どもたちが実施方法を主体的に話し合えるようにするとともに、コロナ禍でも安心して参加できるよう、消毒や換気、感染対策などに十分配慮したうえで、実行した。



また、3 月上旬に文化祭「仲間展」を実施し、20 名が参加した。仲間展では、一般来場者の受け入れ方とその感染対策について子どもたちと話し合い、工夫した。仲間展当日は、缶バッジ作りの企画やオリジナルの BGM 配信、お菓子のコーナー、ボードゲーム体験やファッション紹介のコーナー、ハンドメイド体験、シンポジウム企画などを設け、子どもたちがそれぞれの好きな事を活かし、実践発表できる文化祭になった。



## (2) 学習およびコミュニケーションに関する支援事業

### 1. ひきこもりの若者支援

2019 年度より義務教育後に居場所がなく、地域で孤立しがちな若者を対象に、ゆるやかにつながりあえる場「ワカモノサロン」を実施していたが、2021 年度は、参加者が固定化していること、世話人の親や担当者がかかわる時間の確保が困難になったため、サロンの開催を休止した。

### 2. 放課後クラブについて

毎週土曜 10 時 30 分に開催し、年間でのべ 45 日、発達障害などの学びづらさがある小学生の学習支援を実施し、各回平均で約 3 名の利用者の支援を行った。また、夏休みには「夏休み宿題やつつけ隊」を 3 日間企画・開催し、1 日平均 3 名が参加した。

### 3. 学習クラブ

地域の子どもを対象に、毎週火曜 16 時 30 分から 90 分間、算数を主とした学習支援を開催した。年間でのべ 46 回実施し、各回平均で約 2 名の利用者を支援した。

## (3) 生涯学習に関する機会と場の提供

### 1. 公開講座の企画実施について

1 月に、こうべ LD の会と協働し、公開講座として、高岡建氏をオンライン上で講師に招き、当事者の視点で発達障害をテーマに講演いただいた。参加者はリアル会場で 10 名、オンラインでの参加者が 12 名、計 22 名が参加した。

## 2. フリースクール 20 周年記念事業について

コロナ禍のため、書籍の刊行に至らず、出版社側の編集段階のまま。来期に発刊予定。

### (4) 教育や不登校などの相談及び支援・情報の提供活動

#### 1. 教育や不登校などの相談及び支援・情報提供活動について

当法人多目的室（ルーム B）で、毎月第 3 土曜日に一般公開の不登校親の会を開催し、のべ 12 回、各回平均で約 9 名が参加した。

隔月の奇数月第一土曜日に、こうべ LD の会と協働し、発達障害について考える親の会を開催し、のべ 6 回、各回平均 3～4 名が参加した。

年 4 回、1 回あたり約 250 通、団体機関紙ゆう通信を作成、会員・関係機関へ発送した。

#### 2. フリースクール/オルタナティブスクールの自己評価・相互評価の実践について

2021 年度に、オルタナティブスクールまっくろくろすけ、神戸フリースクール、フリースクール ForLife の 3 団体が、1 年間かけて、自己評価・相互評価を行い、大学の研究者をまじえて、結果をまとめる試みを行った。

#### 3. 過去 10 年分の相談件数等のデータを作成、分析し学会等へ事例発表

立命館大学、大阪大学、弘前大学、愛知文教大学の研究者から「ニッセイ財団研究助成」による“非営利型民間スクールの経営戦略に関する開発的研究”対象として、当法人を取り上げたいとの依頼を受け、研究に協力した。その過程で、当法人に寄せられた過去 10 年間の不登校相談者数の推移と傾向、在籍者の動向をデータ化（当該データは 1 号議案の末の別紙 1・2 の通り）、フリースクールの運営課題等を論文にまとめた。

#### 4. インターンの受け入れについて

今期も、コロナ禍のため、当初予定されていたインターンシッププログラムが中止された。一方で、大阪保健福祉専門学校の福祉実習生受け入れの依頼があり、子どもとのかかわりを通じて、教育・福祉の現場体験の機会を提供した。また、明石高等専門学校の学生を 2 名受け入れ、卒業研究に必要な現場体験や情報提供などに協力した。

実習記録、研究・卒業論文は、当法人の実習記録や卒業論文等保管コーナーに格納した。

#### 5. 日常的な相談支援について

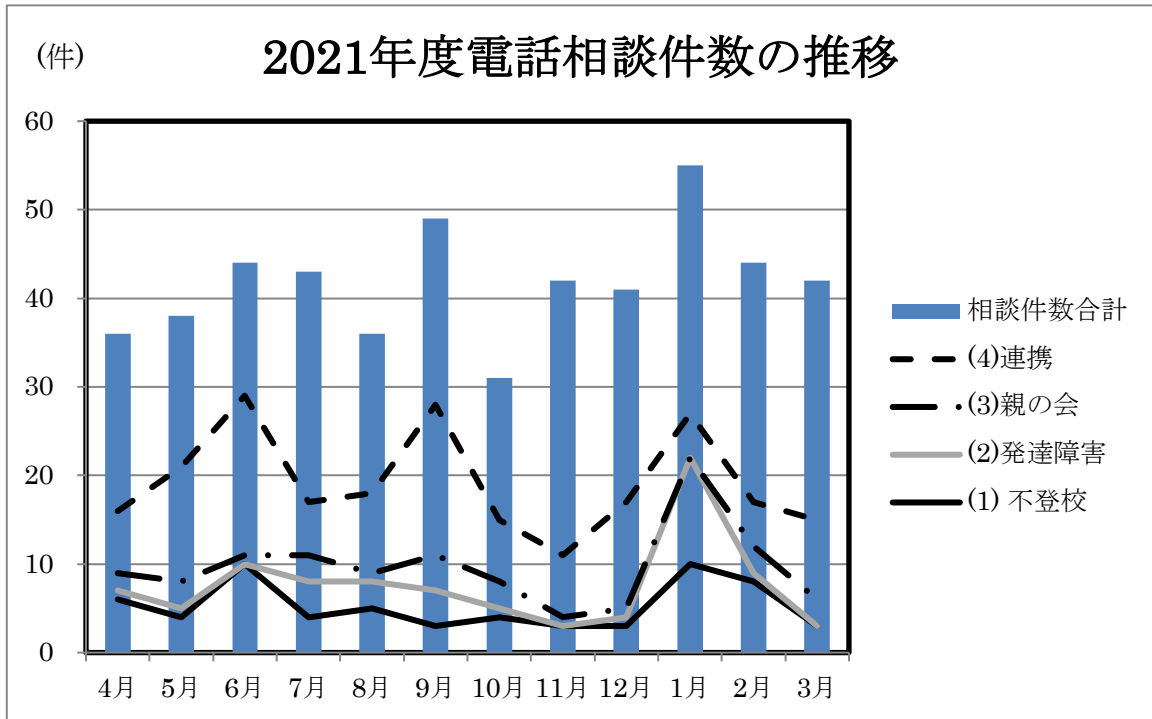
平日に電話、メールによる相談を受けた。なお、年間の相談件数と内訳は、図 1・2 の通り。また、今年度の、問い合わせ・見学者・体験入学者・入学者数の合計ならびに、在籍者数の内訳、卒業者数は表 1 の通り。

(表 1) 本年度の相談件数ならびに在籍者数などの状況

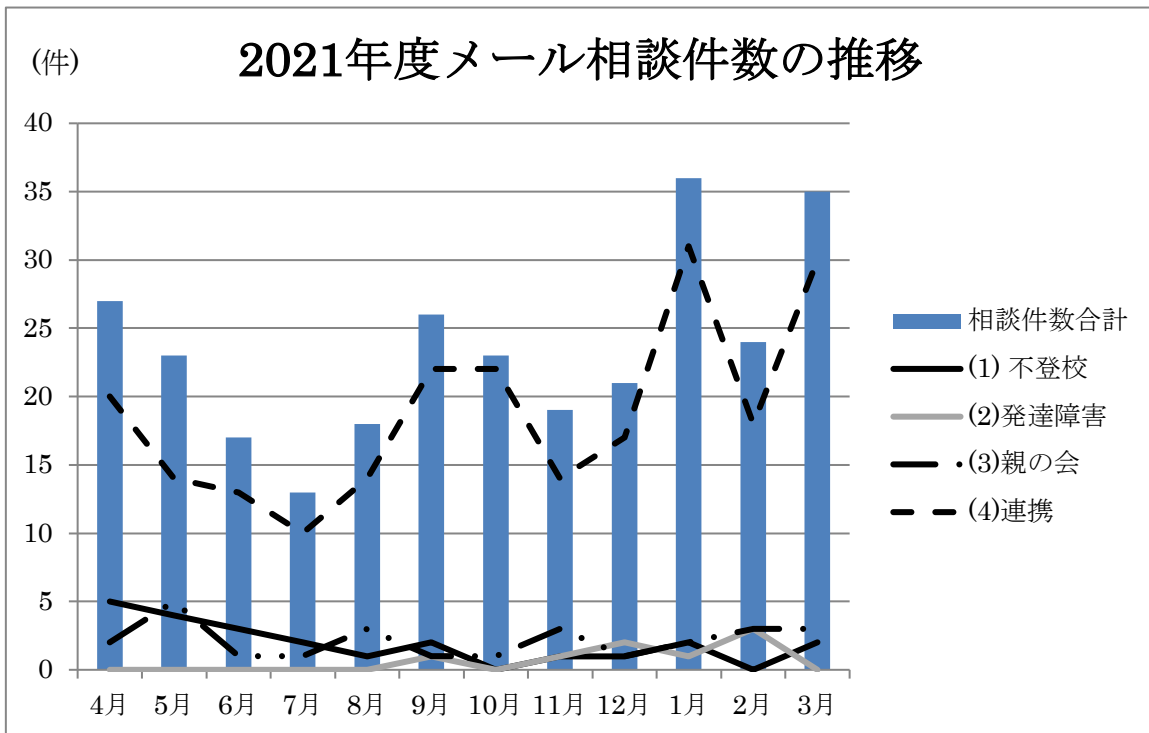
問合せ件数	見学者数	体験入学者数	入学者数	在籍者数	卒業者数
計 94 人	計 32 人	計 12 人	計 8 人	※計 14.9 人	計 11 人

(※内訳：小学生 2.4 人、中学生 9.6 人、高校生 2.9 人)

(図1) 2021年度の電話相談件数の推移



(図2) 2021年度のメール相談件数の推移



## 6. 情報発信について

フリースクールの活動を中心に、当法人の取り組みを下記メディアで発信し、活動の透明性を高めつつ、当スクールに在籍しない不登校の子どもやその保護者を含め、学校外で学び育つ子どもの実態や彼らの取り組みについて、地域社会が理解できるようにした。

(表2) メディアの発信頻度

発信メディア	発信頻度	月平均	フォロワー/登録人数
Twitter	2～5回/日	約118回	1,091人
ブログ(CANPAN)	1回/日	約25回	—
Facebook	1回/日	約25回	606人
Instagram	1回/日	約25回	200人
YouTube	15回/年	約1.2回	239人

## 7. その他、団体内部での取り組みについて

毎月第2・第4火曜日と、平日の16時に、職員とボランティアが情報共有できる場を30分間設定し、各自が抱えるケースを共有、現場に活かすよう努めた。

### (5) その他第3条の目的を達成するために必要な事業及び前号の事業に付帯する事業

#### 1. 不登校・教育に関する施策への提言

フリースクール全国ネットワークなどが主催する会議体において、不登校支援団体との意見交換や各種提言、企画などに協力した。また「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」(教育確保法)の成立に伴い引き続き「兵庫県フリースクール連絡協議会」に主体的に参画し、各教育委員会(神戸市/明石市/尼崎市など)との連絡会に参加し、不登校の子どものために、より良い環境設定の要望を示した。

#### 2. 当法人の実績を活かし、行政や福祉分野などの多様なセクターと協働・提案する事業

当法人の取り組みを通じて得られた教育・福祉・子ども・青少年などの分野の活動実績を活かし、神戸市垂水区社会福祉協議会の協働コーディネート事業を受託、福祉分野の広報を支援する事業やネットワーク、情報処理のインフラ構築業務などに従事した。

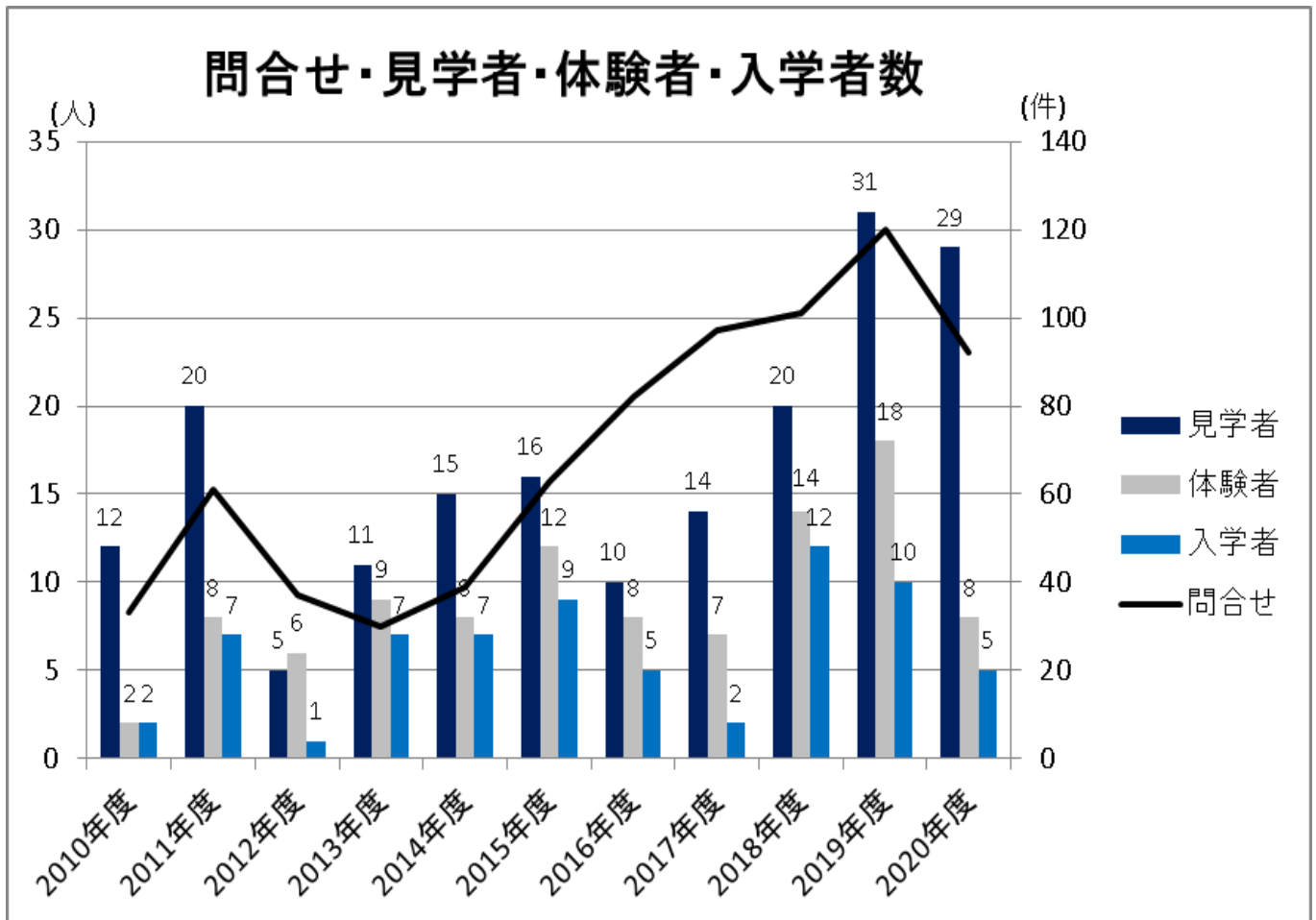
また、NPO法人しゃらくが受託する神戸市協働コーディネート業務の一部委託を受け、神戸市内の子どもの食堂、子どもの居場所調査事業と、神戸市ソーシャルビジネス推進助成ならびに、神戸市協働と参画の推進助成の受託団体の助成事業の企画運営の伴走支援を行った。

#### 3. 当法人の実績を活かし、講演・講義などを行う事業

加古川市教育委員会、神戸市内の社会福祉協議会、神戸大学、立命館大学、地域活動団体から不登校や教育をテーマとした講演・講座の依頼を受け、当法人の職員が登壇した。また、神戸市内の公立中学校、明石清水高等学校、神戸市産業振興財団からの依頼を受けて、持続可能な開発目標(SDGs)をテーマとしたワークショップを企画・開催した。

※2.3の委託や講演等で得られた委託費、講演料、謝金は、当法人のフリースクールの運営を安定させるため活用した。

(図3) 過去10年間の不登校相談者数と当スクールへの入学者数等の推移



※右側のメモリは問合せ数

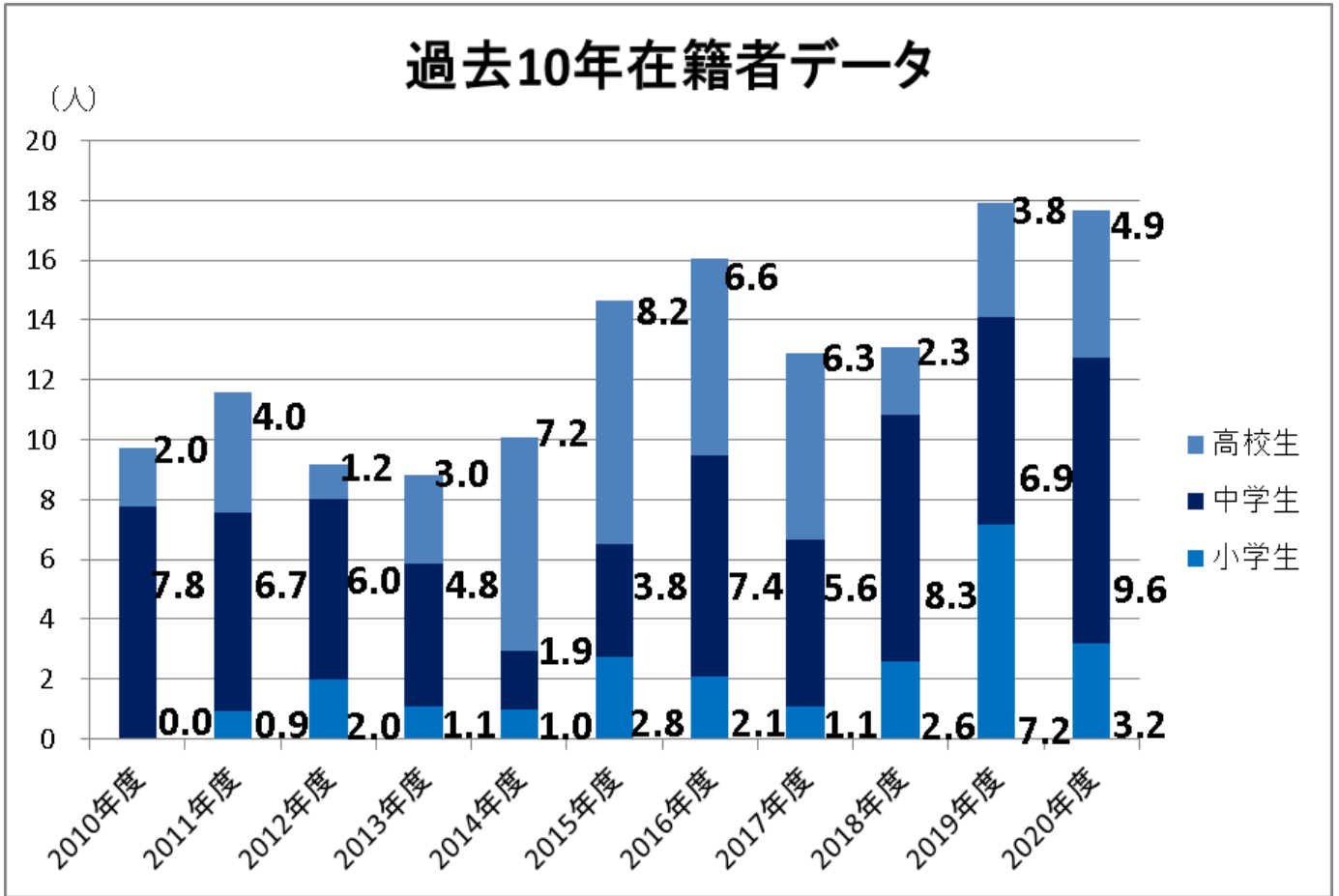
**【解説と分析】**

当フリースクールでは、2012年度に入学者が1名にとどまり、2013年度の新学期が始まった時点で、スクールの在籍者数1名となり廃校・法人解散を検討した危機的な時期があった。そこで、2014年度からフリースクールを核とし、NPO法人ふぉーらいふの組織課題を洗い出し、2015年度にPanasonicNPOサポートファンドの組織基盤強化助成をうけ、当スクールの強みや弱みを明らかにして、見学や体験を希望する子どもたちの受け入れを見直した。

その結果、2015年度を境に前後の5年間を比べると、見学者数に対する体験者入学者数の割合は平均で40%から67%に増加。体験入学者数に対する入学者数の割合は平均で73%から60%に減少したものの、入学者数の合計は24名から38名となった。2017年度からは、問合せ件数と見学者数の伸びが顕著になり、2018年度には、入学者数が12名を記録している。

なお、2019年度以降は、コロナ禍の影響をうけて、入学者数が減少傾向にあるが、体験入学後の入学者数の割合は60%前後を堅持できている。

(図 4) 過去 10 年間の在籍者の動向



**【解説と分析】**

図 3 では、過去 10 年にわたる当スクールの入学者数の推移を中心に示したが、本グラフでは、同期間の各年度で、小学生・中学生・高校生がどのような割合で在籍しているかを明らかにした。人数が小数点第一位までとなるのは、フリースクールでは、年度の途中で入学や進路変更（復学、自主退学、卒業など）することが可能なためである。

文部科学省の調査によると、2010 年度（11 万 9,891 人）と 2020 年度（19 万 6,127 人）では、不登校の児童生徒数は約 1.6 倍に増加、それと連動し、当スクール在籍者数も 10 年間で 1.8 倍に増加している。

当スクールでは、2015 年に見学や体験の受け入れ方を見直し、中学生を中心に受け入れを進めてきた。その結果、2018 年度以降は、小学生と中学生の割合が増加した。なお、文科省のデータでは小学生の不登校者数が 2010 年度（2 万 2,463 人）から 2020 年度（6 万 3,350 人）の約 2.8 倍と急増しており、当スクールでも 2018 年度は一時的に小学生の在籍者数が増加した。しかしながら、2021 年度時点の当スクールでは、小学校低学年からの問い合わせについては対応できておらず、スクールとして何らかの対応を急ぐ必要があると考えられる。

## 2021年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2022年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

科 目 ・ 摘 要	金 額		単 位 (円)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金			
現 金	1,700		
振替口座 通知預金)	6,548,868		
普通預金 みなと銀行垂水支店	416,332		
普通預金 みなと銀行垂水支店 助成金)	7,163,611		
普通貯金 郵便局 (一般)	442,466		
普通貯金 郵便局 助成金 1)	33,320		
普通貯金 郵便局 助成金 2)	0		
普通貯金 郵便局 放課後クラブ)	1,003,861		
普通貯金 郵便局 子ども貯金)	216,735		
普通預金 三井住友銀行垂水支店	0		
		15,826,893	
流動資産合計		15,826,893	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	1		
2)その他固定資産			
敷 金	250,000		
固定資産合計		250,001	
資 産 合 計			16,076,894
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金 社会保険、所得税分	△ 51,595		
流動負債合計		△ 51,595	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			△ 51,595
正味財産合計			16,128,489

当法人の財産目録に相違ありません。

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林 和子



## 2021年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

科 目	金 額		単 位 (円)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,550,568		
郵便局	1,696,382		
みなと銀行	416,332		
助成金口座	7,163,611		
三井住友	0		
流動資産合計		15,826,893	
2 固定資産			
工具器具備品	1		
敷金	250,000		
固定資産合計		250,001	
資 産 合 計			16,076,894
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金 社会保険、所得税分	△ 51,595		
流動負債合計		△ 51,595	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			△ 51,595
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		14,958,280	
当期正味財産増加額		1,170,209	
正味財産合計			16,128,489
負債及び正味財産合計			16,076,894

## 2021年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
NPO 会員 年会費5,000	95,000	
支援会員 年会費3,000	135,000	230,000
2.受取寄付金		
一般	168,012	
20周年事業	63,000	
書籍出版	5,000	
クラウドファンディング (NPOブリックリソース財団)	44,895	280,907
3.受取助成金等		
神戸市青少年育成事業	75,675	
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	605,000	
神戸市協働事業	770,880	
赤い羽根共同募金(親の会)	10,000	
大阪コミュニティ財団事業	200,000	
育児休業両立支援助成	840,000	2,501,555
4.受取補助金等		
善意銀行	50,000	50,000
5.事業収益		
フリースクール事業	5,433,200	
学習・コミュニケーション事業	1,735,450	
講座事業	599,636	
親の会・通信事業	65,800	
連携事業	0	7,834,086
6.その他収益		
雑収入	4,666	
受取利息	68	4,734
経常収益計		10,901,282
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
給料手当	3,504,910	
法定福利費	526,590	
通勤交通費	148,270	
人件費計	4,179,770	
(2)その他経費		
謝金	472,100	
子ども活動費	297,948	
子ども活動交通費	83,978	
消耗品費	21,869	
消耗備品費	0	
交通費	18,323	
通信費	156,132	
印刷費	36,320	
会議費	1,823	
賃借料	46,170	
新聞図書費	10,020	
水道光熱費	147,983	
交際費	0	
地代家賃	1,008,000	
保険料	23,800	
研修費	101,143	
雑費	0	
支払手数料	23,750	
租税公課	0	
修繕費	0	
諸会費	19,200	
広告宣伝費	0	
車両費	65,660	
リース料	0	
減価償却費	60,750	
その他経費計	2,594,969	
事業費計		6,774,739

2.管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,972,970		
法定福利費	285,820		
通勤交通費	119,280		
人件費計	2,378,070		
(2)その他経費			
謝金	12,200		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	10,998		
消耗備品費	41,108		
交通費	21,580		
通信費	29,488		
印刷費	14,349		
会議費	8,448		
賃借料	1,680		
新聞図書費	0		
水道光熱費	36,996		
交際費	3,413		
地代家賃	252,000		
保険料	0		
研修費	105,257		
雑費	0		
支払手数料	5,765		
租税公課	400		
修繕費	0		
諸会費	0		
広告宣伝費	0		
車両費	21,870		
リース料	0		
減価償却費	15,187		
その他経費計	580,739		
管理費計		2,958,809	
経常費用計			9,733,548
当期経常増減額			1,167,734
Ⅲ経常外収益			
1.過年度損益修正益	0		
経常外収益計			0
Ⅳ経常外費用			
1.過年度損益修正損	0		
2.雑損失	△ 2,475		
経常外費用計		△ 2,475	△ 2,475
税引前当期正味財産増減額			1,170,209
当期正味財産増減額			1,170,209
前期繰越正味財産額			14,958,280
次期繰越正味財産額			16,128,489

2021年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

1. 重要な会計方針  
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準2010年7月20日・2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会によっています。  
 (1) 固定資産の減価償却の方法  
 有形固定資産は、什器備品については定額法で償却をしています。  
 (2) 事業費と管理費の按分方法  
 事業及び管理業務の実際の占有時間をもとに、対象となる経費については原則8対2で案分しています。  
 (3) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科目	単位：円							
	フリースクール事業	学習・コミュニケーション事業	講座事業	親の会・通信事業	連携事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>								
1. 受取会費								
NPO会員 年会費5,000	△ 3,000	0	0	0	0	△ 3,000	98,000	95,000
支援会員 年会費3,000	3,000	0	0	0	0	3,000	132,000	135,000
2. 受取寄附金								
一般	168,012	0	0	0	0	168,012	0	168,012
20周年事業	63,000	0	0	0	0	63,000	0	63,000
書籍出版	5,000	0	0	0	0	5,000	0	5,000
ウチノファンディング®️(フリースクール財団)	44,895	0	0	0	0	44,895	0	44,895
3. 受取助成金等								
神戸市青少年育成事業	75,675	0	0	0	0	75,675	0	75,675
墨水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	0	0	0	0	0	0	605,000	605,000
神戸市協働事業	0	0	0	0	0	0	770,880	770,880
赤い羽根共同募金(親の会)	10,000	0	0	0	0	10,000	0	10,000
大阪コミュニティ財団事業	0	200,000	0	0	0	200,000	0	200,000
育児休業自立支援助成	0	0	0	0	0	0	840,000	840,000
4. 受取補助金								
善意銀行	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
5. 事業収益								
フリースクール事業	5,432,200	0	0	0	0	5,432,200	0	5,432,200
学習・コミュニケーション事業	0	1,735,450	0	0	0	1,735,450	0	1,735,450
講座事業	△ 10,000	0	609,636	0	0	599,636	0	599,636
親の会・通信事業	0	0	0	65,800	0	65,800	0	65,800
連携事業	0	0	0	0	0	0	0	0
6. その他収益								
雑収入	4,666	0	0	0	0	4,666	0	4,666
受取利息	68	0	0	0	0	68	0	68
<b>経常収益計</b>	<b>5,794,516</b>	<b>1,985,450</b>	<b>609,636</b>	<b>65,800</b>	<b>0</b>	<b>8,455,402</b>	<b>2,445,880</b>	<b>10,901,282</b>
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費								
給料手当	3,504,910	0	0	0	0	3,504,910	1,972,970	5,477,880
法定福利費	526,590	0	0	0	0	526,590	285,820	812,410
通勤交通費	148,270	0	0	0	0	148,270	119,280	267,550
人件費計	4,179,770	0	0	0	0	4,179,770	2,378,070	6,557,840
(2) その他経費								
謝金	276,865	165,235	0	30,000	0	472,100	12,200	484,300
子ども活動費	193,666	104,282	0	0	0	297,948	0	297,948
子ども活動交通費	54,586	29,392	0	0	0	83,978	0	83,978
消耗品費	14,215	7,654	0	0	0	21,869	10,998	32,867
消耗品費	0	0	0	0	0	0	41,108	41,108
交通費	11,910	6,413	0	0	0	18,323	21,580	39,903
通信費	101,486	54,646	0	0	0	156,132	29,488	185,620
印刷費	23,608	12,712	0	0	0	36,320	14,349	50,669
会議費	1,185	638	0	0	0	1,823	8,448	10,271
賃借料	30,011	16,160	0	0	0	46,170	1,680	47,850
新聞図書費	6,513	3,507	0	0	0	10,020	0	10,020
水道光熱費	96,189	51,794	0	0	0	147,983	36,996	184,979
①ガス	13,836	0	0	0	0	13,836	0	13,836
②電気	131,727	0	0	0	0	131,727	0	131,727
③水道	18,216	0	0	0	0	18,216	0	18,216
④灯油	21,200	0	0	0	0	21,200	0	21,200
交際費	0	0	0	0	0	0	3,413	3,413
地代家賃	645,200	352,800	0	10,000	0	1,008,000	252,000	1,260,000
保険料	15,470	8,330	0	0	0	23,800	0	23,800
研修費	65,743	35,400	0	0	0	101,143	105,257	206,400
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	15,438	8,313	0	0	0	23,750	5,765	29,515
租税公課	0	0	0	0	0	0	400	400
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	6,480	6,720	0	6,000	0	19,200	0	19,200
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	42,679	22,981	0	0	0	65,660	21,870	87,530
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	39,488	21,263	0	0	0	60,750	15,187	75,937
その他経費計	1,646,730	908,239	0	46,000	0	2,594,969	580,739	3,175,708
経常費用計	5,820,500	908,239	0	46,000	0	6,774,739	2,958,809	9,733,549
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 25,984</b>	<b>1,077,211</b>	<b>609,636</b>	<b>19,800</b>	<b>0</b>	<b>1,680,663</b>	<b>△ 512,929</b>	<b>1,167,734</b>
<b>III 経常外収益</b>								
1. 過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>IV 経常外費用</b>								
1. 過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 雑損失	△ 2,475	0	0	0	0	△ 2,475	0	△ 2,475
<b>経常外費用計</b>	<b>△ 2,475</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,475</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,475</b>
<b>当期正味財産合計額</b>	<b>△ 23,509</b>	<b>1,077,211</b>	<b>609,636</b>	<b>19,800</b>	<b>0</b>	<b>1,683,138</b>	<b>△ 512,929</b>	<b>1,170,209</b>

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	486,000	0	0	486,000	485,999	1
敷金	250,000	0	0	250,000	0	250,000
<b>合計</b>	<b>736,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>736,000</b>	<b>485,999</b>	<b>250,001</b>

4. 使途等が制約された助成金及び寄付金等の内訳

使途等が制約された助成金及び寄付金の内訳は下表のとおりです。

内容	期首取得価格	取得	減少	期末残高	備考
神戸市青少年育成事業	0	75675	75675	0	神戸市助成金/青少年の居場所づくり事業に充当
赤い羽根共同募金(親の会)	0	10000	10000	0	赤い羽根共同募金/お母さんのための思春期講座の運営に充当
大阪コミュニティ財団	0	200000	200000	0	
遺贈寄付	2700000	0	300000	2400000	寄付者のご意志により、10カ年計画をたて、フリースクール ForLife®️に高校ステーションの事業に充当
善意銀行	0	50000	50000	0	墨水区社会福祉協議会助成金/発達障害の子どもの学習支援事業に充当
20周年記念事業寄付	369012	63000	0	432012	団体設立20周年記念事業に充当
書籍出版	397915	5000	0	402915	出版事業に充当
ウチノファンディング®️(フリースクール財団)	0	44895	0	44895	子どもを守る・自分を守るために学ぶ性教育と子どもの権利プロジェクトの実施に必要な、費用の目標額210,000円をめぐり寄付を募っており、目標額に達し時点で執行する予定

2022年 5月 25日

## 監査報告書

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林和子殿

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

監事

近藤寿夫 

私は、特定非営利活動促進法第18条に基づき、2021年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の特定非営利活動法人ふおーらいふの会務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する事実はなく、2021年度の特定非営利活動法人ふおーらいふの財産目録及び貸借対照表及び活動計算書は適正なものと認めます。

## 2022 年度事業計画

### ■事業の方針

「子どもの権利条約」及び「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」に基づき、当法人定款第 5 条に定める 5 つの事業を実施するとともに、下記に記載する新規・拡充事業に注力することで、直接または間接的に、不登校状態にある児童生徒の自主・自立の支援ならびに、発達障害の子ども支援および、彼らの保護者支援を行う。

注力する新規または拡充事業は、次の通り。

- (1) **新規** 毎週木曜日に、小学校低学年向けフリースクール『あかでみあ』を開校する。
- (4) **新規** 毎週月曜・水曜日、夕方から夜間にかけて、家庭に居場所がない子ども・若者の居場所『トワイライトスペースたるみ』を開所する。また、虐待やヤングケアラーなどの背景が見られる場合、適切な関係機関に繋ぐようなケースワーク及び、電話・公式 LINE を用いて、対面とオンラインの相談事業を行う。
- (5) **拡充** フリースクール設立 20 周年記念事業として執筆した書籍の出版を記念し、祝賀会を開催する。
- (5) **新規** 「垂水魅力アップ活動助成コーディネーター」業務の委託を受け、垂水魅力アップ活動助成制度全般の見直しと、同助成制度の広報、採択団体の伴走支援を行う。

下記の事業は、縮小・休止する

- (1) **休止** 高校ステーションは、フリースクール ForLife と統合、高校生はフリースクールの活動日程で受け入れし、毎週木曜日の高校ステーション活動日は廃止する。
- (3) **休止** 毎月第 3 土曜に開催していたワカモノサロン事業は休止する。

### (1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

不登校状態の小・中・高校生(20 歳以下の子どもを含む)に対し、以下の形で体験型学習の機会を提供し、利用者の自己肯定感を高めるための支援を行う。

- ・小・中学生に対し、週 2 日、教科プリント学習、読書、WEB ツール等を使用して基礎学習の支援を行うとともに、個に応じた学びのサポートをする。
- ・高校生に対し、週 2 日、利用者の所属する通信制高校(兵庫県立青雲高校)のレポート学習支援を行うとともに、個に応じた進路のサポートをする。
- ・地域の体育館をはじめとする公共施設や、郊外の自然環境が豊かなフィールドを活用し、子どもたちが身体及び五感を使うことのできる体験活動を提供する。また、総合学習等(運動・音楽・芸術・調理ほか)の活動を月単位で企画・実施する。その他、地域住民や団体等と協働し、利用者が地域で職業体験や社会貢献活動などができる機会を設ける。

- ・関西圏の各種民間スクールと合同でスポーツや音楽等を通じた交流をする。
- ・スクールの年中行事として、野外活動、旅行、文化祭を行う。内容については子どもたちが主体となり企画・実施できるよう必要なサポートを行う。
- ・地域の多様な人材の参画を促し、教育活動の一層の充実を図るため、随時ボランティアの募集を行う。

**新規**小学校低学年向けフリースクール『あかでみあ』を開校し、「学び」「遊び」「コミュニケーション」を軸とした学習の機会及び居場所を提供する

- ・小学校1年～4年生の子どもを対象とした居場所『あかでみあ』を毎週木曜日に開所し、「学び」「遊び」「コミュニケーション」活動を軸にプログラムを実施する。その際、フリースクール ForLife と同様、子どもたちが自由に自己表現できる居場所づくりを目指す。
- ・「学び」では、子どもたちの興味関心に沿った調べ学習や、基礎学習（読み、書き、計算）プログラムを実施し、「遊び」では、公園や体育館など地域資源を利用した運動や、スクール内での遊びプログラム（昔遊びやアート等）を実施する。
- ・「コミュニケーション」では、生活体験や対話を通して他者の気持ちを考える機会や、ボードゲームなどを用いて、他者と交渉する、順番を守る、といった社会性や道徳性を学ぶ機会を提供する。

※本事業の趣旨、予算等詳細は2号議案末に添付の別紙1の通り

**感染症の影響によって、長期休校を余儀なくされた場合、フリースクール利用者に向けて、以下の形でオンラインによる支援を行う**

- ・感染症の影響によって、フリースクールが休校になった場合、週に2日、GoogleMeet を利用したオンラインスクールを開き、学習コンテンツの発信や、子どもたちとスタッフ、または子どもたち同士がコミュニケーションを取ることが出来る機会を設ける。
- ・オンラインスクールの他、希望者には定期的に個別 GoogleMeet や電話でサポートをする。
- ・休校期間中、ブログやSNS を利用し、学習コンテンツを発信し、ワークキット等、自宅を取り組める学習コンテンツを子どもたちに郵送するなど、学習の機会を確保する。

**(2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援**

**基礎学習支援として以下の取り組みを行う。**

- ・毎週火曜日の夕方に、『学習クラブ』において、主に地域の小学生を対象に、水道方式の算数教材を用いた個人別指導を行う。

**小学生(発達障害の子どもを含む)の支援として以下の取り組みを行う。その際、発達障害の子どもの学習支援については垂水区社会福祉協議会との協働で事業を実施する。**

- ・原則毎週土曜日の午前に、『放課後クラブ/くればす』を利用する子どもが学校の課題や自主的に設定した基礎学習を学ぶことができる学習スペースを継続して開設する。
- ・月に1度「カレーの日」を設け、子どもたちに料理プログラムを提供する。

### (3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供

不登校や発達障害をはじめ、青少年教育の諸問題について、以下の取り組みを行う。

- ・関西の民間スクールが合同で実施する勉強会、ワークグループ等に参画し、職員が教育に関する諸問題を学ぶ場を年に数回設ける。

### (4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動

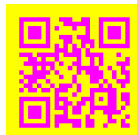
不登校等教育に関する相談及び支援を行うため、以下の取り組みを行う。

- ・毎月第3土曜日に、親の会たんぼぼと協働し、不登校親の会を開催する。また、隔月第1土曜日に、こうべLDの会と協働し、発達障害親の会を開催する。
- ・平日に、電話・メールによる相談支援を行う。また希望者には対面での相談支援や情報提供を行う。
- ・フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すくーりんぐ、兵庫教育大学ボランティア支援室等と連携し、団体情報を発信し、不登校や教育に関する情報交換に取り組む。
- ・年3回を目安に、不登校や発達障害に関する講演会もしくは研修会を自主企画、もしくは外部からの依頼をうけ職員が登壇する。
- ・大学生を対象としたインターンシッププログラムの受け入れ体制を用意する。また、近隣大学などの依頼があれば、内容を検討し、可能な限り随時受け入れを行う。
- ・年4回、1回あたり2~300部、団体機関紙『ゆう通信』を印刷・発行し、NPO会員、支援会員、その他関係各所へ送付し、情報提供を行う。また電子版をWEBに公開する
- ・運営するWEBサイト、団体公式サイト、ブログ、Twitter、YouTube、Instagram、Facebookで情報発信を行う。各リンクは、検索操作不要な、下記の公式アプリで集約し、子ども・保護者の情報アクセス・利便性の向上をはかる。

【フリースクールForLife公式アプリ】

URL : <https://npoforlife.glideapp.io/>

QR :



**新規**夕方から夜間にかけて、家庭に居場所がない子ども・若者の居場所『トワイライトスペースたるみ』を開所する。また、困難事例へのケースワーク及び相談事業を実施する。

- ・家庭で居場所がなく、自分ではどうにもならない生きづらさを抱える子ども・若者が安心して過ごすことができる居場所の提供及び相談業務を行う。
- ・家庭で居場所がない子ども・若者（11~20歳）を支援対象とする。
- ・毎週月曜・木曜日の16:30~20:00に居場所としてフリースペースを開所する。
- ・相談は、対面の他、電話、メールとSNSアプリ『LINE』を使用し受け付ける。
- ・居場所利用者及び相談者に、虐待やヤングケアラーなどの背景が見られる場合、適切な関係機関に繋ぐといったケースワークを行う。
- ・将来的な展望として、行政からの委託事業として実施できるよう、各所に働きかける。また、この事業をモデル化し、広く普及させることで、生きづらい環境下にいる子ども・若者たちがすぐに近くの居場所にSOSを求められる仕組みを作る。

※本事業の趣旨、予算等詳細は2号議案末に添付の別紙2の通り



## (5) その他の事業

法人の定款第 3 条の達成に必要な事業および(1)～(4)に附帯する事業として以下の事  
に取り組み。

### 1. 不登校・教育に関する施策提言にかかわる事業

- ・教育委員会や自治体との連絡会議などへ積極的に参加する。
- ・スクールの子どもたちが所属する、小・中学生の出席認定、高校生を含む通学定期券発行を、認めてもらえるよう、関係団体と連携し、引き続き教育委員会や学校、行政などの窓口へ働きかける。
- ・フリースクール全国ネットワークの企画や情報交換の場に参画し、日本全国の不登校を取り巻く環境改善に取り組むほか、登校拒否・不登校を考える全国ネットワークとの連携により全国的な親の会の情報や課題等を共有する。
- ・**拡充**フリースクール設立20周年記念事業として書籍出版および祝賀会を企画・実施する。
- ・ニッセイ財団研究助成の成果物をもとに、立命館大学、大阪大学、愛知文教大学、弘前大学の研究者と協働で、論文を作成、教育関係の学術学会へ発表し、その内容を踏まえ、持続可能な居場所の運営をテーマに、晃洋書籍から書籍を出版する。

### 2. 当法人の実績を生かし、行政や福祉分野などの多様なセクターと協働する事業

- ・兵庫県立青雲高等学校評議員に参加し、通信制課程で学ぶ高校生の支援を行う。
- ・大学の授業や各種団体が企画する講座への登壇依頼があった場合は、職員を派遣し、法人が蓄積してきたノウハウを地域社会へ還元することで、間接的に学校外で学び育つ子どもに対する地域社会の理解を促進する。
- ・垂水区社会福祉協議会や協働コーディネート事業の委託を受け、福祉分野の後方支援とネットワークインフラの構築支援を行うため、毎週月曜日に、職員 1 名を神戸市垂水区社会福祉協議会へ出向させる。

### 3. 当法人の実績を活かし、講演・講義などを行う事業

- ・2030SDGs を活用し、持続可能な開発目標を学び体験する講座を実施する。
- ・**新規**神戸市垂水区の「垂水魅力アップ活動助成コーディネーター」業務の委託を受け、同助成事業の制度の見直しと、その広報、採択団体の伴走支援を行うため、毎週月曜日に、職員 1 名を神戸市垂水区役所内のまちづくり課へ出向させる。
- ・これらの委託や講演・講師依頼で得た委託料や謝金等は、フリースクールを中心に、法人全体の各種事業の運営を安定させるため活用する。

### 3. その他関連事業等

- ・フリースクールに所属する子どもたちの活動を充実させつつ、スクールに所属しない不登校などの子どもたちも取り残さないよう、誰もが一般参加可能なプログラムを企画するため、常勤職員 1 人当たり 1 事業を目標に、民間企業等が公募する助成金事業に申請、財源を確保するよう努める。
- ・職員やボランティアの資質向上のため内閣府・専門機関等が主催する研修会に参加する。

フリースクール ForLife 低学年部「あかでみあ」

【事業主旨・内容】

- ・事業報告末のデータでも明らかになった通り、小学生の不登校増加で、当スクールでも見学・入学希望者が増加しており、小学生の入学者を受け入れる工夫が急務である。しかし、これまでフリースクール ForLife では人員不足により小学生のうち低学年の入学希望者の受け入れをしてこなかった。
- ・今年度、1名職員を採用、現場の従事者を増員できたことから、毎週木曜日 10:00～14:00 に、フリースクール ForLife 低学年部「あかでみあ」を開校し、小学校低学年（1～4年生）を対象とした「学び」「遊び」「コミュニケーション」プログラムを、実施する。

【一日の流れ】

10:00	開校・朝の会
11:00	「学び」の時間
12:00	昼食
13:00	「遊び」「コミュニケーション」の時間
14:00	閉校

【成果目標】

- ・6人の利用者を想定

【収入】

(単位:円)

費目	金額	備考
支援会員費	18,000	@3,000×6人=18,000
学費	720,000	@10,000×12か月×6人=720,000
合計	738,000	

※学費は1ヶ月1万円。入学時、支援会員費を徴収。

※6人の利用者を想定。

【支出】

(単位:円)

費目	金額	備考
人件費	480,000	@1,250(時給)×4h×48日×2人=480,000
家賃	168,000	@3,500(家賃日割り)×48日=168,000
交通費	34,560	@360×48日×2人=34,560
その他	48,000	@1,000(水道光熱費・材料費)×48日=48,000
合計	730,560	

※当事業は週に1回木曜日、年間で48日間実施。

※進捗状況は別紙(第2号議案一別紙1-2)

## フリースクール ForLife 低学年部「あかでみあ」年間計画

## 1. 年間計画

これまでの進捗	
02月07日	令和3年度第4回理事会にて承認
02月	チラシ・リーフレット作成
03月	チラシ・リーフレット完成、広報開始
04月14日	「あかでみあ」開校
05月01日	「あかでみあ」専用ホームページ開設
05月21日	「あかでみあ」見学・体験・入学者向け説明会開催
今後の予定	
06月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定）
07月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定） 運営会議（現状確認・見直し）
08月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定）
09月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定） 運営会議（現状確認・見直し）
10月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定）
11月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定） 運営会議（現状確認・見直し）
12月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定）
01月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定） 運営会議（現状確認・見直し）
02月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定）
03月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催（予定） 運営会議（現状確認・見直し）

## 2. 広報計画

Twitter／ブログ／Facebook （それぞれ実施1日あたり1回）

新聞社 （年1回）

その他 親の会月例会、各種講座及び講演会開催時に適宜チラシを配布

## 別紙 2-1

### 夜間の居場所「トワイライトスペースたるみ」

#### 【事業主旨・内容】

- ・家庭的にしんどい背景を持つ子ども・若者（11歳～20歳）を対象としたプログラムを、毎週月・木曜日 16:00～20:00 に実施する。
- ・居場所の運営・利用者対応に加え、メール・電話・LINE による相談と行政機関との連携を行う。

#### 【一日の流れ】

16:00	居場所準備
16:30	開所
～	
20:00	閉所

#### 【成果目標】

- ・居場所は、1日平均2～5名の利用者を想定。
- ・相談者を支援機関につなぐ件数は、1日平均1名の利用者を想定。

#### 【収入】

(単位：円)

費目	金額	備考
大阪コミュニティ財団	100,000	受託済み
阪神高速未来へのプロジェクト	233,000	申請済み
クラウドファンディングで調達	602,380	調達できない場合は、遺贈寄付から支出(※)
合計	935,380	

※行政からの委託や、他の助成制度への申請を随時行う。

#### 【支出】

(単位：円)

費目	金額	備考
人件費	504,000	@1250(時給) × 4h × 2日 × 4週 × 12か月 × 1人 = 480,000 @1000(日給) × 2日 × 12か月 × 1人 = 24,000
家賃	336,000	@3,500(家賃日割り) × 96日 = 336,000
交通費	6,200	@620 × 5日 × 2人 = 6,200
交際費	6,000	@2000 × 3か所 = 6,000
物品購入費	14,624	コピー用紙(A4 1500枚) @1016 インク(キャノンカラー3色) @2069 インク(ブラック) @1859 固定電話機器 @9680
その他	68,556	@500(水道光熱費) × 2日 × 4週 × 12か月 = 48,000 @3000(固定電話開設工事) @1463(電話代) × 12か月 = 17,556
合計	935,380	

※当事業は週に2回月曜・木曜、年間で96日間実施。

※進捗状況・年間計画は別紙(第2号議案—別紙2-2)

## 夜の居場所「トワイライトスペースたるみ」年間計画

## 1. 年間計画

これまでの進捗		
11月11日	神戸市ヤングケアラー窓口・岡本氏	挨拶と連携依頼
12月	助成金申請書提出 大阪コミュニティ財団	
02月	チラシ・図式作成	
03月3日	野口弁護士	挨拶とアドバイザー依頼
03月8日	兵庫県立大・當間氏	運営相談とアドバイス
04月7日	すいせい・高木氏	挨拶と連携依頼
8日	理事・羽下先生	挨拶とアドバイザー依頼
11日	垂水区社協・左山氏／久須氏	挨拶と連携依頼
	高橋ひでのり氏	挨拶と連携依頼
20日	助成金申請書提出 阪神高速未来のプロジェクト	
22日	理事・高宮先生	挨拶とアドバイザー依頼
26日	子ども未来課・西端氏／野里氏	挨拶と連携依頼
27日	神戸市教育委員会・学校指導課	挨拶と連携依頼
28日	垂水区役所保健福祉課・矢野氏	挨拶と連携依頼
05月02日	居場所開設・相談／広報	
12日	FAITH CAFÉ・川端氏	挨拶とチラシ配架依頼
16日	神戸新聞社・綱嶋氏	取材
	リーフレット作成	
	公式LINE 公開	
	HP 作成	
今後の予定		
06月	居場所開設・相談／広報 神戸少年の町・児童相談所 挨拶	
07月	居場所開設・相談／運営会議（現状確認・見直し）	
08月	居場所開設・相談／広報 クラウドファンディング準備・開始	
09月	居場所開設・相談／広報	
10月	居場所開設・相談／運営会議（現状確認・見直し）	
11月	居場所開設・相談／広報	
12月	居場所開設・相談／広報	
01月	居場所開設・相談／運営会議（現状確認・見直し） 来年度助成金申請（WAM助成モデル事業を検討）	
02月	居場所開設・相談／広報	
03月	居場所開設・相談／運営会議（今年度まとめ振返り・見直し）	

## 2. 広報計画

チラシ (50枚印刷、連携機関を中心に、5箇所配架)

Twitter／ブログ／Facebook (それぞれ実施1日あたり1回)

新聞社 (年1回)

## 2022年度 活動予算

科目摘要		金額		
<b>I 経常収益</b>				
1 会費収入				
NPO会員 年会費	5000円	100,000		
支援会員 年会費	3000円	150,000	250,000	
2 受取寄付金				
一般		100,000		
20周年事業		100,000		
書籍出版		100,000	300,000	
3 受取助成金等				
神戸市青少年の居場所づくり助成		90,000		
大阪コミュニティ財団		100,000		
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業		660,000		
神戸市垂水区協働コーディネート事業		700,000		
赤い羽根共同募金(親の会)		10,000		
		0		
		0		
		0	1,560,000	
4 受取補助金				
善意銀行		50,000	50,000	
5 事業収入				
フリースクール事業		6,195,000		
フリースクール小学校低学年の部		738,000		
トワイライトスペースたるみ		0		
講座事業		300,000		
親の会 通信		60,000		
連携事業		20,000	7,313,000	
6 その他の収入				
受取利息		200		
雑収入			200	
経常収益計				9,473,200
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1) 人件費				
給与手当		5,640,000		
法定福利費		900,000		
通勤交通費		322,000		
人件費計		6,862,000		
(2) その他経費				
謝金		500,000		
子ども活動費		500,000		
子ども活動交通費		50,000		
消耗品費		70,000		
消耗備品費		50,000		
交通費		150,000		
通信費		85,000		
印刷費		447,915		
会議費		20,000		
賃借料		160,000		
新聞図書費		20,000		
水道光熱費		120,000		
交際費		10,000		
地代家賃		1,029,000		
保険料		100,000		
研修費		100,000		
雑費		10,000		
支払手数料		40,000		
租税公課		20,000		
修繕費		0		
諸会費		40,000		

広告宣伝費	30,000		
車両費	180,000		
リース料	25,000		
減価償却費	0		
その他経費計	3,756,915		
事業費計		10,618,915	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,160,000		
法定福利費	330,000		
通勤交通費	100,000		
人件費計	2,590,000		
(2) その他経費			
謝金	86,400		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	10,000		
消耗備品費	10,000		
交通費	180,000		
通信費	10,000		
印刷費	10,000		
会議費	20,000		
賃借料	20,000		
新聞図書費	10,000		
水道光熱費	1,200		
交際費	5,000		
地代家賃	231,000		
保険料	10,000		
研修費	150,000		
雑費	5,000		
支払手数料	15,000		
租税公課	10,000		
修繕費	0		
諸会費	30,000		
広告宣伝費	0		
車両費	21,870		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	835,470		
管理費計		3,425,470	
経常費用計			14,044,385
当期経常増減額			△ 4,571,185
III 経常外収益			
1 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損	0		
2 雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増加額			△ 4,571,185
当期正味財産増加額			△ 4,571,185
前期繰越正味財産額			16,128,489
次期繰越正味財産額			11,557,304

## 報告事項

1. 当法人の就業規則の見直しを行った。
2. 法人として、育児休業制度を設けた。  
今期は、男性性職員 1 名が取得した。
3. 当法人の職員募集をするため、説明会を企画し、希望者を一般公募した。  
説明会には 3 名のエントリーがあり、書類選考と面談等を行い、正職員を新規で 1 名採用した。

## その他

1. 当法人（フリースクール）の 20 年を書籍化する事業の進捗について  
出版社に依頼し、原稿の修正等をやりとりしている段階。コロナ禍で当初の刊行予定は大幅にずれているが、次期で刊行される見込み。



令和 4年 6月 25日

---

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

〒655-0022 兵庫県神戸市垂水区瑞穂通7-2

電話 078-706-6186 (FAX共通)

メール forlife@hi-net.zaq.ne.jp

WEB <http://fsforlife.sakura.ne.jp>

ブログ <http://blog.canpan.info/forlife>

Twitter <https://twitter.com/npoforlife>

Facebook <https://www.facebook.com/npoforlife>

Instagram <https://www.instagram.com/npoforlife>

YouTube <https://www.youtube.com/user/FreeSchoolForLife>

【公式アプリアクセス QR】

